

先週末に引き続き、大雪です。❄️香川でも白い冬を体験できました！

### <さぬきのうるし>

香川の伝統工芸の一つに漆芸があります。蒔醬（きんま）・存清（ぞんせい）・彫漆（ちょうしつ）は香川県独特の技法です。これに後藤塗（ごとうぬり）・象谷塗（そうこくぬり）を合わせた5つの技法を総称して「香川漆器」と呼ばれています。高松市には「香川県漆芸研究所」があり、全国的にも漆芸が盛んな地域です。

先日、高松市の「宗家後藤盆」で後藤塗のお話を聞いてきました。後藤塗は、下地をつけずに直接生地に漆をすり込んで塗る、という特徴があります。塗っては乾かし、を何度も繰り返す、刷毛で塗った後に直接手でなでるように塗る「おどり」という技法で独特の模様を出します。やや渋みのある朱色が、使い込むほどに鮮やかな朱色に変化していくそうです。教えてくださった五代目の後藤孝子さんは、漆のコーヒーカップやモダンな模様の茶器を作るなど、伝統を生かしつつ若い感性で新しい風をおこしています。



後藤塗のお碗



生涯学習課の茶托は「象谷塗」です。

後藤塗の体験もしました。香川県特産の「庵治石」の板に貼ったシールに図案を書き、カッターで切り抜いてステンシルのようにポンポンとたたいて漆を色付けします。とても楽しかったです。

